

① 六人のすばらしいお坊さんに拍手

「こんばんは。今月も加茂法話会のために、六人のすばらしいお坊さんがお忙しい中おいでくださいました。本当にありがとうございます」

幹事のご婦人のこの挨拶で始まる新潟県のほぼ中央に位置する加茂市、この一地方の小さな布教活動です。

「何か布教実演の勉強を定期的にしたいたい」そんな何気ない法友との話の中で、平成六年春頃よりお寺を会場に開催。十一月より加茂の檀信徒のお家で行われ、今は町のコミニティー会館で行われています。

毎月一回。十九時三十分より始まり、最初に坐禅を三分位、同音にて三帰礼文・般若心経の読経の後、持ち時間十〳〵十五分の実演を三人で（五名の法友の寸評あり）最後に、普回向・四弘誓願文で二十時四十分頃、閉会。

幹事の方のほめ言葉に励まされおだてられ、また、熱心に聞いてくださる二十名前後の方々に守られてのささやかな集まりではありますが、まもなく丸八年が経過。「継続は力なり」と、合掌しています。

一人一人担当月の時は、レジュメ作りに頭を悩ませています。そのことがまた肥料となつています。この会が私どもを大きく育ててくれているようです。

“スマイルBOX”の毎月の浄財を盆、暮れといただきませんが、いただきっぱなしでは申し訳ない。本当の法施をおあげしなければと肝に銘じています。

（2002年7月投稿）

② 令和7年1月現在は、10名のお坊さん、15名前後の参加者で構成され、会場も転々として今は加茂市公民館で実施。三ヶ月に一回くらいの割合で法話発表。

③ 財法二施功德無量 自他法界平等利益
聞いて下さる方がいるからお話ができ、発表者はもがきながら原稿を作成し、ほどよい緊張感の中での法話。発表者以外のお坊さんはメモ用紙に法話の寸評を書く。参加される方はお坊さんのお話があるから夜でも足を運んで下さる。お坊さんを育てて下さっている。また参加者は仏種を育てている。

参加のお坊さんで二人は現役の曹洞宗特派布教師で、他の方々もそれぞれに布教に関わっている。加茂法話会の存在は大きい。大事に育てていかねばならない。

④ 「瑩山今生の仏法修行はこの檀越の信心によって成就す」

（『洞谷山永光寺盡未来際置文』）